

NOTÍCIAS DO BRASIL
Publicado semanalmente
Rua Fagundes N. 16
Caixa Postal H
Tele. Central, 5005
S. Paulo, Brazil
Proprietario e editor
Seisaku Kuroishi

Assinaturas

por Anno	18\$00
" Semestre	9\$00
" Mez	1\$80
" Semana	50c

野球試合観

野球試合を觀て

右語に、其傳也君子と云ふ事があり又鍛錬は人を理にす云ふ事がある。然るに人は感情に走り易い處から、根もない事に根を持ち、騒がすさも可い事に騒ぎ廻して、自分の足らざる所を覺らして他人の爲す所を恨む。云ふ事は珍しくない。殊に日本人に於て其弊の甚だ大なるを見る。

えて、ミカドは大に觀ふのだと前へれ頗る物々しかつた。併し私は最近牧所での感想に支配されて格別興味の無いものではなかつたが、行つて見た。水道の水で磨きをかけて、生白い顔をしたミカド若衆一團の向ふの方で、旺んに練習を這つて居る一群が、あれがアニューマス軍云ふので、接近して能く見ると、いふほど赫々と赤銅色をした筋骨逞ましい容貌の若者揃で、

去る日曜アニューマスの遠征軍を、然らぬアニューマスの優勝で終つた。えて、ミカドは大に戦ふのだと前國際得點を調べるなんぞ野暮である。然る物々しき併し私は最鯨島氏の寄附カッパは氏自からカツて、近來客所での感想に支配されて格別ユエー代表者に渡さる。カツて鯨島の興味を喚ぶたのではないかと、鯨島カッパを覗いて見ると、氏の一見味を嗅れたたの水で磨きをかけて書いたカドが滲えてあり、氏の一、生白い顔をしたミカド若衆一団は一層鮮かに躍つて居る。

農務省調査

労働者の移重超等

然し是と云ふも畢竟修養訓練の足らざる結果で、少くも此方面に意を用うれば、若し努力が必要であつても、之が終決を告ぐれば元の平和に復し、自分の足らざる所を覺れば、他人の爲す所に服す云ふ事になる。例を遠くに求むるまでもなく去る廿二日と廿三日に、コンデ街坂下のグラウンドで青年が催ふ了球試合を見てゐるので、修養と訓練とを讀みさへすれば、其處に必ず美果を現はし得るものである。と云つて本文の記者が、自分で感じ、自分で書いたのでは我田引水の誇りを免れまいから、適ミカド野から來つて、アニューマス通ミカド野球試合を見た云ふ、菱山君の寄書を其機突に掲げて見るならば「私日本人の集團を見た。其の突躍に湧いた感想は甚だ憐れなものであつた。生活に疲れた營養不良者の顔付をして居た。此所彼所三々五々の集まりで、彼等の咽ふ音符を聴いたが、力なき半音階の餘韻は亡國の哀調であるかの如く思はしめた。明治の中葉三千餘萬を高調して、臺灣中の勃興の氣運に押されて生い立つた我々には、消ぐましい程に悲哀を覺ゆるのである。

私は全く嘆息した。とても之は日本文と本人とは思はれない。ブルグレの遠征だな。私は其の時直感にミカドなんぞ到底此の珍客の相手ではなからうと思つた。

戦は始まつた。前日ラバ組を何の風勢もなく一掃した。ミカドに對し、ミカドは實に緊張して打突かつたのであつた、始めから勝敗は問題ではない。フエジョンを飽食して鍛上げた筋骨を有も、格士に親しんで野武士を向ふに廻はし、脂粉の香に染み、優柔に馴れた都人士の匹敵すべき筈はない。私は色々の感想が一時に込み上げて來た、帝國の延長は此等の人々に依つてこそ榮光し上げられるのだ。裏に亡國の哀れを聴いて悲哀を感じた。私はアニューマス軍を見、蘇生の思がした。そして此等の人の咽喉からは、あんな哀調は出て來ないだらうと。

尚ほ私は憶はしめるのを見たが、來野武士は粗糲のものであるが、アニューマス軍は節制あり、訓練あり統一があつた。ミカド應援團より浴びせかける深刻な野次に對しても、微笑を以て報ひ堂々戰つた。文相を附けてでも思はれる審判役の宣告に對してですらも黙々と服従した。私は此の徹頭徹尾紳士的にふるまふ動作を讚美するのである。戦は堂々

ライオン州では(製糖労働) 一九二二年 二八〇〇〇・四〇〇 一九二三年 二八〇〇〇・四五〇 一九二四年 二八〇〇〇・五〇〇	ラバドゥラ製造(労働) 一九二二年 二五〇〇・四〇〇 一九二三年 二五〇〇・五〇〇 一九二四年 三〇〇〇・五〇〇	火酒醸造 一九二二年 二五〇〇・一五〇〇 一九二三年 三〇〇〇・一五〇〇 一九二四年 四〇〇〇・一五〇〇	メナンプコロ州(農務者) 一九二二年 一〇〇〇・二〇〇 一九二三年 一〇〇〇・二五〇 一九二四年 一三〇〇・三〇〇	アラドール 一九二二年 三〇〇〇・一五〇〇 一九二三年 三〇〇〇・一五〇〇 一九二四年 三〇〇〇・一六〇〇	糖業指導者給 一九二二年 五〇〇〇・一〇〇〇 一九二三年 同 上 一九二四年 六〇〇〇・一〇〇〇	アラゴアス州 一九二二年 一〇〇〇・二〇〇 一九二三年 同 上 一九二四年 一五〇〇・二〇〇	メルジベ州 一九二二年 一〇〇〇・二〇〇 一九二三年 一〇〇〇・二五〇 一九二四年 一〇〇〇・三〇〇	バイア州 一九二二年 一〇〇〇・四〇〇 一九二三年 同 上 一九二四年 同 上	アラドール給 一九二二年 三〇〇〇・一七〇〇 一九二三年 三〇〇〇・一八〇〇 一九二四年 三〇〇〇・一九〇〇	エスピリト・サント州(労働者) 一九二二年 二〇〇〇・六〇〇 一九二三年 二〇〇〇・六〇〇 一九二四年 二〇〇〇・六〇〇
--	---	---	--	--	---	---	---	--	---	---

アラドール給は三年間共六ミル牛車御者給は三年間共五ミル乃至六ミル又馬車の日給は四ミル乃至五ミルであつた。

リオ州に於ては千九百二十一及二の兩年各務労働者の日給は三ミル乃至三ミル五ペレオ、千九百二十三年には三ミル五ペレオ乃至四ミル五ペレオ、又甘蔗製糖業従事者の給金は千九百二十一及二の兩年は三ミル五ペレオ乃至四ミル五ペレオ、千九百二十三年には四ミル五ペレオ乃至五ミルであつた。

サンパウロ州に於ける労働者アラドール等の日給は

一九二二年 二〇〇〇・一六〇〇
一九二三年 二五〇〇・一五〇〇
一九二四年 四〇〇〇・一七〇〇

バラナ州

一九二二年 二五〇〇・一五〇〇
一九二三年 三〇〇〇・一六〇〇
一九二四年 三〇〇〇・一六〇〇

サンタカタリナ州に於ては千九百二十一及二年には二ミル乃至六ミル乃至千九百二十三年には二ミル五百乃至七ミルであつた。

南大河州では

一九二二年 二五〇〇・一六〇〇
一九二三年 三五〇〇・一五〇〇
一九二四年 五〇〇〇・一六〇〇

ミナス州では千九百二十一及二年には二ミル五百乃至五ミル、千九百二十三年には三ミル乃至五ミル而してゴヤス州に於ては二年を通ず一ミル五百乃至三ミルでマトグロ

法、農學博士 高岡熊雄

法、農學博士 高岡熊雄

十二萬一千六百六十七戸に小作會者
は農村である。又農商務省農務局
の佛蘭西の貨幣法が止度もなくグ

[illegible]

に於て我國の富を四萬億弗即ち八百
億圓と評定した、若し之を標準とす
るときは震災の爲めに恰も我が國富
の八分の一が僅か一瞬間云ふ内に
破滅したのである。更に此の損失
額を以て我が國に於ける農業林業漁
業工業及び工業の諸生産業が一ケ
十年間に生産する價額と相當するに
年間に生産する價額と相當するに
餘が官廳統計を基として調査せし結
果に據れば此種の生産總額は

大正六年	五七、二四〇萬圓
七年	九〇、九四〇萬圓
八年	一三三、三〇〇萬圓
九年	一五一、五三〇萬圓
十年	一九六、一八〇萬圓

にては正大正六年より同十年に至る五
ヶ年の平均額は九五億九千九百萬
圓である。若し大正六年を除き残り
の四ヶ年を平均すれば一ヶ年の生産
總額が百〇六億圓となる。されば今
回の震災は全國に於ける農業其他の
生産業の一ヶ年分の生産額を總て皆
な烏有に歸せられたものと同じ様で
自然の破壊力の極めて偉大なる
には更ながら點かざるを得ない次
第である。

震災に伴ふ農村の損害

一般の震災及び火災の區域が帝都及
び一大輸出港たる濱濱市を含むを以
て世人は主として此の兩市の損失及
び之が復興に就て論述して居る。併
しながら農村が被りたる災害も亦決
視すべきものにあらざと思ふ。

現住戸數の約二割二分に相當する。
此の外地震及び海嘯の爲めに耕地の
埋没したり流失したり或は海水に侵
入せられたものもあり又昨時は崩れ
水路は破壊し田面には雪災を生じた
ものもある。水稻其他農作物の被
つた損害や家畜の死傷や時恰も夏置
の飼育中であつた爲め養蠶に及ぼし
た損失等もある。農業者が被つた此
等の損害額に就ては正確なる統計的
事實の據るべきものなき農商務省
の調査に依れば其の額の決して少な
からざりしは充分に推測することが
出来る、何分にも農村の人口は都市
と異なつて處々に點在して居るので
鐵道線路上に沿うての地域内に於て
被害の程度が比較的少ないに一般
旅行者の注意を惹起することが割合
少なき農村の爲めに聲を高うして
天下の志士仁人に訴ふるもの無きこ
等の爲めに農村に於ける被害は事
實以下に見做され天下の耳目は帝都
及び横濱市の復興にのみ集注せられ
て農村に於ける震災の救済は兎角等
閑に附せらるゝ傾向のあるのは真に
遺憾の大弊である、吾人は前者の復
興に對して大に努力するの必要を感
ずると同時に後者の救済も決して輕
視するべきにあらずと思ふ。

運動中 夫同磨子の家々帝劇で當て
りさ離婦人保護協會を作らうと
故松田非獨磨子の「人形のノラ」
にアイブセンの「人形の家のノラ」
實在の人で丁抹のコンバーゲンに
住み今年七十五歳實名はラウラ・キ
レルと呼び娘時代アイブセンが宗教
問題と題する作に興味を惹きた當時の
青年劇作者を敬慕しアイブセンも彼女
を氣に入つてロデレッタ（雲雀）と
可愛い綽名をつけて呼んでゐた
其年後兩人の關係は絶えラウラは
ゲルム家へ嫁入つたその中夫が病
氣に罹つたので生活を支へる爲には
借金をして廻らなければならな
くなつたが偽署名の噂が擴まり其
がアイブセンの耳に入つた之に着想す
ると共に選評に對する辯護をする爲
に「人形」の家を書いた事實際は彼女
が決定して偽署名をした事はなかったし
劇ではノラは名を見捨てたがラウラ
は終始家庭にある借金も返済したと
●謝肉祭後の四句祭は羅馬時代の
寺院では三十六日たつたが第五世紀
に至つて四日間加へられて四十日とな
なりその風が歐洲一般にひろまつた
●最近二年間リコールの密輸入の
税額は一億六千四百十六萬弗だ米
國政府の税關統計局で發表してゐる

不思議な蘇生

(三) ポスチル 武生

私は落雷のショックを受けたのであつた。意識が恢復と共に、もう大丈夫だといふ強い確信を持つことが出来た。

然し全身が云々云々程で痛むので、衣物を脱ぎ、最も痛みを覚ゆる左肩を見ると、肩から肘にかけて赤く、丁度焼く様の細かな水服が一面に出来て、手の處に二握りばかり同じ水服が出て居た。

胃の左上も思はれる處にも二握り貨大の腹を凝視して居た。

尚ほ兩足を凝視して居た。左側の内側から爪先まで赤い線が引かれ、右は膝下の内側から踵迄二寸幅位で赤くなつて居た。

「おうえらかつた」と始めて口を開いた時、家族の顔にも晴やかな笑みが浮んで来た。

陰脈で一瞬心臓痙攣を起したのだらうと思つたものだから、其の運動を助ける爲めに、ひとひさ歩いてやうと立ち上らうとして見たが、腰が抜けて居る様にどうも身が自由に動かない、全身は未だシビレて居る様だ。

雷が落ちてから、ものゝ半分も経つて居るが、この白土蔵の壁によりて居る。

「奴隷の娘」(一) 杉山 楓 影 譯

美人達や、上流社會をうづつた澤山の貴婦人達はどんな事をしたのだらう? それによろしく讀者諸君の考へるんでせう。さうしてあの女と結婚した。...

「何て罪人!」と一時に奥様兼體格な御威光が出来るんでせう。...

「何でそんな事?」と事件は其の通り得氣の毒な思ひだ。因はれた人の嫁は出来なかつた。...

「お秀、お秀」の刻印を益々鮮かにする。...

「お秀、お秀」の刻印を益々鮮かにする。...

「お秀、お秀」の刻印を益々鮮かにする。...

淡き月の光に照らされ、やうせきき輝くやうな場所を求め、一人思ふ。...

我、物思ふ身とはなりぬ。...

虫の音もしづまりて、...

青白き月光を浴びて、...

我一人淋しくたゞすむ。...

秋の夜の、...

かゝるて更け行く。...

耕地川柳 富岡耕村

摘採の初日みんなの早い事、...

幾何の意も手傳つて早いこと、...

まだ薄暗くて何處に珈琲がなつて居るのかわらない。...

夕立も雨作煙は降らず、...

少し雨だすとすぐカフエールから逃げて歸り間作煙へ行く、...

し位の雨なら半氣な、...

デヤサント間作煙の書入れ、...

他の外人達はサッパリした服で、...

も着て散歩に出掛けるデヤサント、...

ラバヤ、...

頻りに歯が痛むと手唐云ひ、...

「奴隷の娘」(二) 杉山 楓 影 譯

「彼女等は云ふのだつた。『平氣なものよ。さうさ身請けをする。』

「平氣なものよ。さうさ身請けをする。』

「平氣なものよ。さうさ身請けをする。』

「平氣なものよ。さうさ身請けをする。』

「平氣なものよ。さうさ身請けをする。』

「平氣なものよ。さうさ身請けをする。』

「平氣なものよ。さうさ身請けをする。』

「平氣なものよ。さうさ身請けをする。』

「平氣なものよ。さうさ身請けをする。』

「平氣なものよ。さうさ身請けをする。』

「平氣なものよ。さうさ身請けをする。』

「平氣なものよ。さうさ身請けをする。』

「平氣なものよ。さうさ身請けをする。』

「平氣なものよ。さうさ身請けをする。』

「平氣なものよ。さうさ身請けをする。』

「平氣なものよ。さうさ身請けをする。』

「平氣なものよ。さうさ身請けをする。』

「平氣なものよ。さうさ身請けをする。』

「奴隷の娘」(三) 杉山 楓 影 譯

「彼女等は云ふのだつた。『平氣なものよ。さうさ身請けをする。』

「平氣なものよ。さうさ身請けをする。』

「平氣なものよ。さうさ身請けをする。』

「平氣なものよ。さうさ身請けをする。』

「平氣なものよ。さうさ身請けをする。』

「平氣なものよ。さうさ身請けをする。』

「平氣なものよ。さうさ身請けをする。』

「平氣なものよ。さうさ身請けをする。』

「平氣なものよ。さうさ身請けをする。』

「平氣なものよ。さうさ身請けをする。』

「平氣なものよ。さうさ身請けをする。』

「平氣なものよ。さうさ身請けをする。』

「平氣なものよ。さうさ身請けをする。』

「平氣なものよ。さうさ身請けをする。』

「平氣なものよ。さうさ身請けをする。』

「平氣なものよ。さうさ身請けをする。』

「平氣なものよ。さうさ身請けをする。』

「平氣なものよ。さうさ身請けをする。』

「奴隷の娘」(四) 杉山 楓 影 譯

「彼女等は云ふのだつた。『平氣なものよ。さうさ身請けをする。』

「平氣なものよ。さうさ身請けをする。』

「平氣なものよ。さうさ身請けをする。』

「平氣なものよ。さうさ身請けをする。』

「平氣なものよ。さうさ身請けをする。』

「平氣なものよ。さうさ身請けをする。』

「平氣なものよ。さうさ身請けをする。』

「平氣なものよ。さうさ身請けをする。』

「平氣なものよ。さうさ身請けをする。』

「平氣なものよ。さうさ身請けをする。』

「平氣なものよ。さうさ身請けをする。』

「平氣なものよ。さうさ身請けをする。』

「平氣なものよ。さうさ身請けをする。』

「平氣なものよ。さうさ身請けをする。』

「平氣なものよ。さうさ身請けをする。』

「平氣なものよ。さうさ身請けをする。』

「平氣なものよ。さうさ身請けをする。』

「平氣なものよ。さうさ身請けをする。』

「奴隷の娘」(五) 杉山 楓 影 譯

「彼女等は云ふのだつた。『平氣なものよ。さうさ身請けをする。』

「平氣なものよ。さうさ身請けをする。』

「平氣なものよ。さうさ身請けをする。』

「平氣なものよ。さうさ身請けをする。』

「平氣なものよ。さうさ身請けをする。』

「平氣なものよ。さうさ身請けをする。』

「平氣なものよ。さうさ身請けをする。』

「平氣なものよ。さうさ身請けをする。』

「平氣なものよ。さうさ身請けをする。』

「平氣なものよ。さうさ身請けをする。』

「平氣なものよ。さうさ身請けをする。』

「平氣なものよ。さうさ身請けをする。』

「平氣なものよ。さうさ身請けをする。』

「平氣なものよ。さうさ身請けをする。』

「平氣なものよ。さうさ身請けをする。』

「平氣なものよ。さうさ身請けをする。』

「平氣なものよ。さうさ身請けをする。』

「平氣なものよ。さうさ身請けをする。』

「奴隷の娘」(六) 杉山 楓 影 譯

「彼女等は云ふのだつた。『平氣なものよ。さうさ身請けをする。』

「平氣なものよ。さうさ身請けをする。』

「平氣なものよ。さうさ身請けをする。』

「平氣なものよ。さうさ身請けをする。』

「平氣なものよ。さうさ身請けをする。』

「平氣なものよ。さうさ身請けをする。』

「平氣なものよ。さうさ身請けをする。』

「平氣なものよ。さうさ身請けをする。』

「平氣なものよ。さうさ身請けをする。』

「平氣なものよ。さうさ身請けをする。』

「平氣なものよ。さうさ身請けをする。』

「平氣なものよ。さうさ身請けをする。』

「平氣なものよ。さうさ身請けをする。』

「平氣なものよ。さうさ身請けをする。』

「平氣なものよ。さうさ身請けをする。』

「平氣なものよ。さうさ身請けをする。』

「平氣なものよ。さうさ身請けをする。』

「平氣なものよ。さうさ身請けをする。』

日本にも飛來する
世界一週飛行

同航程三萬九千哩
米國陸軍の大計畫

既に前報に載せておいた通り、米國陸軍飛行隊の第一週飛行は、四月一日、ロンドンからニューヨークまで、約三萬九千哩の航程を飛行し、四月三日、ニューヨークに到着した。この飛行は、米國陸軍の大計畫である。飛行機は、ロンドンからニューヨークまで、約三萬九千哩の航程を飛行し、四月三日、ニューヨークに到着した。この飛行は、米國陸軍の大計畫である。

沈没船を見捨て、
外洋へ逃げた怪船

三崎沖にて衝突し
船員四名は行方不明

二月二日午前六時頃、三崎沖にて、米國海軍の駆逐艦「スミス」が、不明の怪船と衝突した。衝突の結果、怪船は沈没し、船員四名は行方不明となった。米國海軍は、沈没した怪船の調査を開始した。怪船は、沈没した後に、外洋へ逃げた。この事件は、米國海軍の大計畫である。

石川縣下で舉行する
今秋の特別大演習

五個師團が参加して
頗る大規模に實施

大正十二年度陸軍特別大演習は、昨秋、石川縣下で舉行された。この演習は、五個師團が参加して、頗る大規模に實施された。演習の結果、石川縣下は、大規模に實施された。この演習は、石川縣下の大計畫である。

探海作業の結果
湖底に惨死死體

犯人は其の母か
長野縣上水内郡信濃川村

長野縣上水内郡信濃川村で、探海作業の結果、湖底に惨死死體が発見された。犯人は、其の母か。この事件は、長野縣上水内郡信濃川村の大計畫である。

ラビスカンド

話のこころ
形勢の急変

ラビスカンドの話のこころは、形勢の急変である。この話は、ラビスカンドの大計畫である。

軍備豫算編成

日本政府は閣議に於て
四年より二十五年度

日本政府は閣議に於て、四年より二十五年度の軍備豫算を編成した。この豫算は、四年より二十五年度の軍備豫算である。

女中一名入用

少人数の外國人家庭で
毎日日出し入るまで

少人数の外國人家庭で、女中一名入用。毎日日出し入るまで。この女中は、女中の大計畫である。

伯刺西爾時報社

會計係

伯刺西爾時報社の會計係は、會計係の大計畫である。

頭の毛

毛髪落病に悩む者

毛髪落病に悩む者の頭の毛。この毛は、頭の毛の大計畫である。

BANCO NOROESTE DO ESTADO DE S. PAULO
横濱正金銀行ノロエステ線總代理店
郷里送金……横濱正金銀行指定の建相場により御取扱申候
預金及び貸出其他一般銀行業務取扱
本店 Rua Boa Vista No. 24 SÃO PAULO
支店 Lins, Pirajhy, Pennapolis, Pres. Alves e Araçatuba
ENDERECO TELEFONICO OICED

HATIRO MYAZAKI
ENCARREGADO DA AGENCIA GERAL DA EMPREZA
PAULISTA DE COLONIZACAO, LTDA. EM RIO PRETO
シャングアダ耕地(井戸)
四百家族の同胞地を二キロメートル手前に据へて
ビラジネラより南に自動車道路に依り廿四キロメートル
の地点にあるノロエステ線沿線のオアシス
「エスピゴ」の部分千五百アルケレス
▲以上は何れも年賦拂にて契約し、尙ほ御視察
案内又は詳細は從前の通り「サンパウロ」土地木材植
民會社事務所に御願ひし。宮崎八郎
Est. Birigui, LinaNoroeste

小殖民地賣却
ノロエステ線沿線に於ける第一、第二の土地は既に
賣却され、第三の土地は、現在、賣却中である。この土地は、小殖民地賣却の大計畫である。

珈琲地帯
ノロエステ線沿線に於ける第一、第二の土地は既に
賣却され、第三の土地は、現在、賣却中である。この土地は、珈琲地帯の大計畫である。

御旅館旭
野口喜平治
電話 四二〇二
本館は、野口喜平治の御旅館旭である。

半井桃水

來かねます

六助に紋服を着せ、横川勘平を見返つて、

『何と似合つたかな』

『ハ、ア、成程甘酒屋ぢや、したが今からでは早過ぎる、夕刻仕入れを致した上で、商賣は夜分の事』

『ナニ世間でも兩國の廣小路へ出て居りますさ、なか／＼商賣が御座ります、今から仕入れて夕刻までにその分を賣盡し、晝の賣前でも一度夕刻仕入れに晝るやうなら、三度の御飯を腹一杯、頂かれませう程の、徳分は御座ります』

『商賣を始めた上は、少しも多く稼ぎたい、大儀ながら仕入れの先へ、案内致して貰ひたいのう』

『畏まりました御座ります』と六助尻をひづばして甘酒の荷をかつがうさる。

『是はしたり、其の荷は身共が擔いで参る、古びても羽二重の紋服、それを着て甘酒の荷は不似合ぢや、』

『ハ、ハ、ハ、うゝこんな物着た事は忘れて居るので御座ります、假令荷は擔ぎませいで、甘酒仕入れに此の身なりでは』と六助は當惑顔、

『何さま夫では可笑しからう、待て此に好いものがある』と横川勘平は毛利小平太が、脱ぎ捨の法被捜し出して、

『是を上被に致して参れば、さして人の目にも付くまい』

『ヘイ／＼是ならば大丈夫で御座ります』

『支度がよくば早速参らう』

『お供致すで御座りませう』

『これ老人、仕入屋へ参つても、俺まで新参の甘酒賣り、汝の弟子として取扱ひ、言葉も成るべくぞんざいに致しくれねば相成らぬぞ』

『恐れ入りました御座ります』

『恐れ入つては都合が悪い、ヤイ長左、斯するのだ彼するのだ、乾兒、あつかひでなうてはならぬ』

『長左とは何譯の事で御座ります』

『身共の名が長左衛門、なれども甘』

BANCO ESPECIE DE YOKOHAMA LTD

各地食糧店でお求め下さい
鹽から
乾魚
ケズリ節
製造本舗
三共商會
K
サントス
セナドル、ダクタス街五三番
電話セントラル三〇五四番
郵函三二八番

一、御送金の伯貨は當店にて受取りたる當日の爲替相場にて日本金に換算可仕候
二、日本内地郵便爲替料、當留料其他總て當